# 本土唯一 軍政敷かれた館山

戦後70年 写真で見るあの日

## 8月28日・富津

富津に上陸した海兵隊員。県内に進駐した最初の米兵で、上半身裸なのが注目される＝1945年8月28日撮影、米海軍歴史センター所蔵

## 9月3日・館山

上陸用舟艇から装備品を担いで館山に上陸する米陸軍第112騎兵連隊。この日から軍政が敷かれた＝1945年9月3日撮影

70年前の9月2日、スーリ号で東京湾に浮かぶ戦艦ミズーリ号上で降伏文書に調印した。東京湾口に位置し、軍事上の重要拠点だった館山はその翌日から、1945年6月に米軍に占領された沖縄に次いで本土で唯一、占領軍の施政下に置かれた。戦後保護国日本に取り組むGHQ（連合国最高司令官総司令部）の人、「芸術文化」を通じて米軍の綱紀粛正を図ったのは「日本政府の機能を存続し軍政を遂行する」とした連合国軍総司令部の方針と矛盾するため、わずか数日で撤回された。軍政の終了を告げる文書は残されていないが、愛沢代表は安房中学（現安房高）の授業が9月7日から再開されたことを根拠に、館山の軍政は4日間で終わったと推定している。【中島章隆】

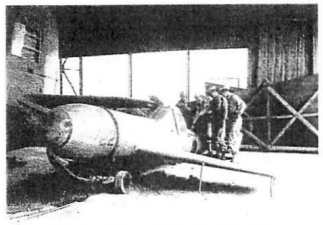
東京湾に浮かぶ戦艦ミズーリ号で降伏文書に調印した。東京湾口に位置し、軍事上の重要拠点だった館山はその翌日から、1945年6月に米軍に占領された沖縄に次いで本土で唯一、占領軍の施政下に置かれた。戦後保護国日本に取り組むGHQ（連合国最高司令官総司令部）の人、「芸術文化」を通じて米軍の綱紀粛正を図ったのは45年8月28日、先遣隊である米海兵隊の特殊部隊が富津海岸に上陸したのが始まりとされる。海兵隊員は二百数十人。連合国最高司令官のマッカーサーが厚木飛行場に降り立った30日には、館山港から上陸。館山海軍飛行隊の基地に入り、富津から館山にかけての海岸線の機雷敷設状況などを調査した。その結果を踏まえ9月3日、ジェリアン・W・カニンガム准将が率いる米陸軍第112騎兵連隊約3500人が館山に上陸した。

愛沢代表は「米軍は横浜に正規軍を上陸させ、挟み撃ちで首都を制圧する作戦を計画していた」と説明する。

同隊の任務は日本軍の武装解除と民政監督。カニンガム准将は3日付の文書で日本側に米軍司令部による館山地区の占領を宣言した文書では、日本軍関係者と行政当局に、館山から鴨川にかけてのすべての軍事施設や発電所、燃料施設の位置を記した地図を提出するよう求め、すべての学校の閉鎖、午後7時から午前6時までの外出禁止、酒場や劇場の閉鎖などを命じた。一方で、米兵には神社内への立ち入りを禁じ、文化・芸術品の保護、職務の妨害がない限り一般人に危害を与えないことを指示した。

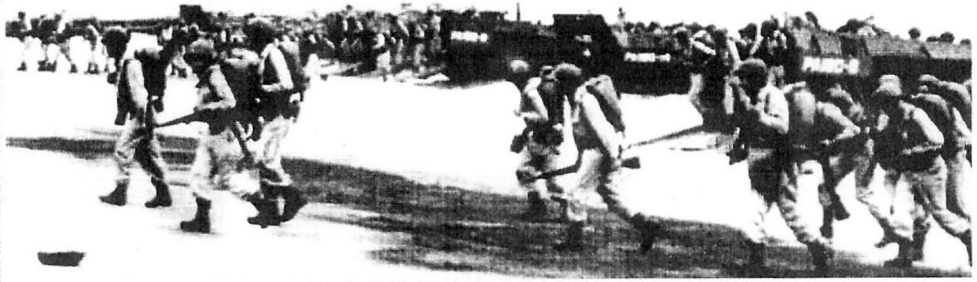
軍政を敷く前の数日間、海兵隊員が館山市内で婦女暴行2件、同未遂6件、住居侵入16件など36件もの犯罪を起していたことが千葉県警察史に記録されている。愛沢代表は「軍政を遂行する」

## 占領軍上陸から4日間



海軍館山基地に残された特攻用グライダー「桜花」を検分する米軍兵士＝撮影日不明

砲台のある場所には目印の白旗（右）が掲げられた＝1945年9月9日撮影



館山に上陸した米陸軍第112騎兵連隊＝1945年9月3日撮影、写真はいずれも米テキサス軍事博物館所蔵

館山市内の土産物店で商談する米軍兵士＝1945年9月20日撮影、場所は不明

第112騎兵連隊を率いたカニンガム准将＝1945年9月5日撮影

占領軍の重要な目的の一つが日本軍の武装解除。銃や弾薬は指定の集積場に集められて無効化された＝1945年9月12日撮影